

平成28年度「基礎・基本」定着状況調査について

1 調査の趣旨

- (1) 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの学力の状況を把握する。
- (2) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- (3) 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 児童生徒の学力及び学習の状況を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。

2 調査対象

- (1) 小学校第5学年
- (2) 中学校第2学年

3 調査実施日

平成28年6月7日（火）

4 調査内容（実施教科等）

- (1) 小学校 第5学年
国語、算数、理科における前学年までの学習内容の定着状況調査等
- (2) 中学校 第2学年
国語、数学、理科、英語における前学年までの学習内容の定着状況調査等

*タイプⅠ：教科で身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなどの基礎的・基本的な内容

*タイプⅡ：教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

5 調査結果

別紙のとおり

平成 28 年度「基礎・基本」定着状況調査の結果について

坂町教育委員会
学校教育課

1 調査実施期日及び調査実施校数（坂町内小中学校）等

実施期日：平成 28 年 6 月 7 日（火）

学 年	調査実施校数	集計対象者数
小学校第 5 学年	3 校	136 人
中学校第 2 学年	1 校	121 人

2 調査実施教科の平均通過率（坂町内小中学校）（％）

	小 学 校								
	国 語			算 数			理 科		
	全体	タイプⅠ	タイプⅡ	全体	タイプⅠ	タイプⅡ	全体	タイプⅠ	タイプⅡ
坂町	69.2	73.1	44.6	78.2	82.5	64.3	67.3	74.8	53.4
広島県	63.7	68.0	36.7	69.4	74.9	52.0	60.6	68.1	46.7
広島県との差(ポイント)	5.5	5.1	7.9	8.8	7.6	12.3	6.7	6.7	6.7

	中 学 校											
	国 語			数 学			理 科			英 語		
	全体	タイプⅠ	タイプⅡ	全体	タイプⅠ	タイプⅡ	全体	タイプⅠ	タイプⅡ	全体	タイプⅠ	タイプⅡ
坂町	75.0	77.7	63.4	72.4	75.7	61.3	56.3	57.6	54.6	70.4	73.8	51.4
広島県	69.7	71.8	60.6	66.8	69.6	57.3	51.8	54.4	48.3	69.6	72.6	53.0
広島県との差(ポイント)	5.3	5.9	2.8	5.6	6.1	4.0	4.5	3.2	6.3	0.8	1.2	-1.6

- タイプⅠは小学校のすべてと中学校の国語、数学、英語の教科において、平均通過率が 70% を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は、おおむね定着していると考えられる。
- タイプⅡは小学校の算数、中学校の国語・数学において平均通過率が 60% を超えていることから、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などはおおむね定着していると考えられる。しかし、中学校の英語は、課題があると考えられる。